

山行報告書

報告書作成

2007年1月8日

山名 [山域]	甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳	目的と方法	雪山
登山期間	12月29日(金) ~ 31日(日)	山行形態	テント泊
参加人数	2名		

行動記録

12月29(金)曇

岩津市民センタ-(650)==豊田東IC(655)==伊那IC(855)==戸台P(955,1045)--丹溪山荘(1335,1350)
--北沢長衛小屋TS(1620)

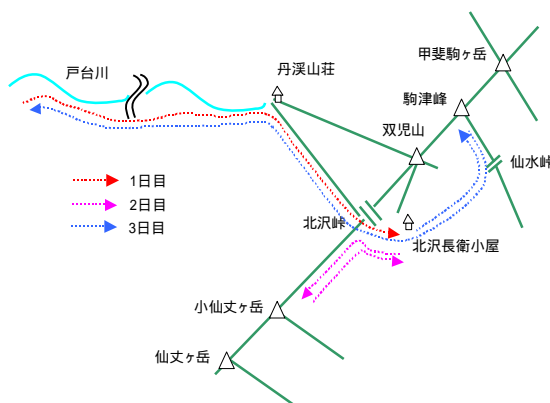
12月30(土)晴

TS(700)--大滝の頭(925,930)--小仙丈のかなり下(1000,1030)--大滝の頭(1050,1100)--TS(1225)

12月31(日)晴

TS(440)--仙水峠(600)--駒津峰(745,810)--TS(1010,1145)--丹溪山荘(1400,1410)
--戸台P(1645,1655)==伊那IC(1745)==豊田東IC(2005)==岩津市民センタ-(2010)

概念図



日誌

29日(金)曇

予定より30分程遅れての出発となる。高速を快調に飛ばしながら、伊那ICで降り、戸台へと向かう。昨年の燕岳に続いて年末山行は2回目だ。駐車場には結構車が止まっており、みんなやっぱり好きなんだな。

河原を延々と歩き、角兵衛沢でテントを張ろうとしているパーティがいた。鋸岳まで行くそうだ。

丹溪山荘までは平坦な道で、コースタイムを40分程短縮。ここからは急坂でほぼ予定通りに北沢長衛小屋のテントサイトに到着。テント設営後、大宴会。今回は2人なので各自、持ち寄った食材を肴に大好きな山について語りあう。まさに至福のひとつときであった。

30日(土)晴

朝、目覚めると(5時起床)、耳とのが痛い。風邪薬で何とかなるだろう。朝飯もあまり食べる気がせず、軽い行動食を摂り、今日は仙丈へ。昨日の快適な足取りとは一変して今日は全然前へ進まない。

気温は-6~8 くらいである。手先と頬が冷たい。さらにペースが落ちてきたところで、昨日のあまりのおにぎりを食べようとしたら、凍っていた。お湯を飲みながら無理やり食べる。少し元気が出る。

大滝の頭を超え、樹林帯を抜けると強烈な風で、引き返してくる数パーティとすれ違う。

行ける所までという事で進むが、小仙丈すら、険しい道のりに思えた。この光景を焼き付けておこう。

結局、すぐに撤退を決め、正午過ぎにはテント場へ戻る。ひどく体力を消耗しており、3時間ほど眠る。

16時ごろ、起き、再び大宴会。持参した一房ののんにくとトンちゃんて明日への活力を養う。

31日(日)晴

今日は3時起床。体調回復かと思いきや、両耳は聞こえなくなり、耳、のど関節が痛い。風邪薬で……。無理やりカップラーメン、行動食を胃袋に詰め、5時前に出発。ヘッドランプの雪道は気持ちがいい。しかし、一步一步、耳に激痛を伴う。しかしこの痛みも段々と麻痺してくるから、人間って強いな。この状況が、コースタイムに正確に反映され、今回は駒津峰で引き返すことになった。甲斐駒、仙丈、北岳、北アルプス、御岳、乗鞍、中央アルプス、富士山、さえぎる物が無いほど快晴なのに、撤退、無念……。

今回の山行はリーダーが大変申し訳ないことをしてしまいました。すいませんでした。